

55 皮膚糸状菌症

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	<pre> graph TD     A["(1) 疫学調査"] --- B["(2) 臨床検査"]     A --- B     B -- "(被毛、落屑、痂皮)" --&gt; C["(3) 簡易真菌検査"]     C -- "&lt;直接鏡検&gt;" --&gt; D["(+)", "(-)"]     D -- "+" --&gt; E["(4) 真菌培養試験"]     E -- "&lt;分離培養&gt;" --&gt; F["(+)", "(-)"]     D -- "-" --&gt; F     </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p style="text-align: center;">(+)</p> <p style="text-align: center;">(-)</p>
最終判定	疫学調査、臨床検査の結果を基に、簡易真菌検査、真菌培養試験等の結果を併せて総合的に判断する。
その他	

→類似疾病検査

53 デルマトフィルス症

○ 病原体: *Trichophyton verrucosum*、*T. mentagrophytes* var. *mentagrophytes*

\*我が国においては、ほとんどが *Trichophyton verrucosum*

(1) 疫学調査

- ① 流行地からの保菌牛の導入により発生することが多い。
- ② 放牧や集約的飼育により牛群にまん延する。
- ③ 子牛に多発する傾向がある。
- ④ 不適切な飼養管理などにより、牛の免疫力が低下した際に多発する傾向がある。

(2) 臨床検査

- ① 灰褐色、類円形に隆起した菌甲の形成
- ② 落屑や脱毛
- ③ 痒感を伴う痂皮形成
- ④ 病変は頭頸部に好発

(3) 簡易真菌検査(直接鏡検)

病変部から被毛、落屑、痂皮を採取し10～20%水酸化カリウム標本を作製し、5～10 $\mu$ m大、球状長連鎖した分節胞子を確認する。10～20%水酸化カリウム溶液に15～20%濃度でDMSO(Dimethylsulfoxide)を添加すると、材料の軟化・透明化が早くなり、より観察しやすい標本が得られる。

(4) 真菌培養試験(分離培養)

- ① 病変部の被毛、落屑、痂皮をチアミン・イノシトール加サブロー・ブドウ糖寒天培地(クロラムフェニコール 50mg/L、シクロヘキシミド 500mg/L)またはポテト・デキストロース寒天培地を用い、30～37 $^{\circ}$ C、2週間好気培養にて菌分離を行う。チアミン・イノシトールの添加により、真菌の発育は促進されるが、ブレイン・ハート・インフュージョン培地や、Yeast extract 添加サブロー培地を用いることにより、分離成績が向上する場合もある。
- ② 培地固着性の灰白色塊状で隆起性のあるコロニーを形成する。
- ③ 特徴的な形態を確認する。
  - ・ラセン菌糸
  - ・シャンデリア菌糸
  - ・卵円形または洋梨状の小分生子
  - ・楕状菌糸
  - ・ラケット菌糸
  - ・棍棒状または紡錘形の大分生子